

**長岡第十小学校 6年生 平和学習
児童の感想まとめ（一部抜粋・原文まま）**

○今日の授業を受けた感想

- ・空しゅうで、1 人が死んでも少ないなと思ってはいけなくて、1 人の命がうばわれただけでたいへんだということが心に残っています。
- ・日本で初めて戦争がはじまった時代や長岡京市でも空しゅうがあつてその時にたくさんの人がけがをし 1 人でもなくなっていたことがわかりました。
- ・日本はやられているだけではなく日本も無差別こうげきをしていることを忘れてはいけないと思った。戦死した人のほとんどはが死していたという事実を始めて知った。
- ・長岡京市でも空しゅうに合つてじっさいに亡くなった人がいたり長岡京市も戦争にかんけいしていたことがよく分かった。
- ・今日の授業で平和がもっと大切だとおもいました。
- ・神足空しゅうについてよく知れました。岡田ヒロ子さんの妹ヒサ子さんが亡くなって悲しいと思った。
- ・岡田ヒロ子さんの話はしっていたけど、あらためて心に残りました。
- ・やはり、あたり前だけど、命は大切だと思いました。
- ・日本や世界で過去にあった戦争のことや小林先生の平和についての考えが聞けて、とても貴重な体験をさせてもらったと思った。また戦争についてお話を聞きたい。
- ・戦争はやはり、してはいけないことなんだなと思った。
- ・平和とゆうのは戦争をしないというだけじゃないことがわかった。
- ・もしも自分のお父さんや家族が戦争に行ったりしてなくなってしまったら。これからはちゃんとそういうこともしっかり考えたいと思いました。
- ・岡田ヒロ子さんのことが知れてもっと戦争のおそろしさやつらさが学べたと思いました。
- ・平和を大切に次世代につないでいこうとしている人たちがいて安心しました。
- ・岡田ヒサ子さんは妹のヒロ子さんが死んでとても悲しかっただろうなと思いました。そして同じ思いをする人が少しでも減るといいなと思いました。
- ・岡田ヒロ子さんと、兵士に行ったおとうさんの家族は、ヒロ子さん、お父さんに最後あえなかったから、こうして、わたしたちがふつうにお母さんお父さんに会えるのは、平和だからだとわかった。
- ・戦争をもっと早く終わらせることはできなかったのかなと思いました。
- ・京都は、げんばくをおとす予約をされていて、おおきな空しゅうがなかったという話をきいて、京都もとてもおおきなひがいを受けることになっていたのだとしました。

○長岡京市でおこった神足空襲についてどう思いましたか。

- ・原ばくが落とされて、大人、小学生が協力していたことがわかりました。
- ・自分が住んでいる長岡京市に空しゅうがおこっていたことがとてもびっくりしました。
- ・話を聞く前に神足空しゅうについて少しはしっていたけれどどれだけの人にひ害がでたかやどれだけこわかったかがわかりました。
- ・長岡京市でも空しゅうがおこっていたことにびっくりした。
- ・じっさいにけいけんすることは出来ないけどその時に長岡京市にすんでいたらどんな感じだったのかが分かった。
- ・1 人でも命が亡くなるととても悲しい思いをするんだなと命の大切ももっと分かりました。
- ・ひさんだと思った。人が亡くなることは悲しい。
- ・神足空襲のことをあらためて知り、戦争はあたり前だけどこわいし、命はとても大切だと思いました。
- ・死者は 1 人で他の空襲に比べれば少ないほうだけど 1 人でも命が無くなることはとても被害をうけたことになるし、その方の家族や友人も悲しんだと思うので、とても悲惨な出来事だと思います。
- ・京都が原ばくを落とそうとねらっていたことにびっくりした。子どもたちは農作業を手伝ってその仕事は、がいちゅうをとる

仕事でびっくりした。

- ・子どもたちも畑しごとを手伝っているなんて思いもしなかったです。
- ・大きな空襲はなくてもひがいは大きんだなと思った。もっとくわしく神足空襲について知りたい。
- ・京都府は、他と比べて小さいからおおきな被害を受けていないと思っていたけど京都は山がおおいからもっとも最てきと知ってとってもこわいなと思いました。
- ・一人がなくなったときいてさいしよは、「えっ」と思ったけど、はなしをきいていくと「たった 1 人」でも「たった」じゃないんだと思った。
- ・神足空しゅうはあんまり人がなくならなかったし、けが人も少なかったけど、戦争があったことは、その亡くなった人のことはなくなるから、戦争は小さくても、やってはいけないことだということが分かりました。
- ・えんとつにあとがあって、それを見た人は、また戦争をおもいだしてしまうから、二度とやらないことが大切だと思った。

○平和な世界になるために、あなたはどんなことができると思いますか。

- ・ぼう力やいじめをしないようにすると平和になると思う。
- ・みんなにやさしくせったりけんかをした時もイライラせずあやまったりれいせいになることで平和な世界にどんどんなっていくと思いました。
- ・戦争のことをよく知っておくことが大切。
- ・未来の子どもに戦争のおそろしさと平和の大切さを伝えること。
- ・戦争について言ってくれる人の話を次の世代へつないでゆき、戦争がかつてあり、たくさんの人が亡くなり、かなしい思いをした人がいたことを知っておく。
- ・亡くなった人がいて、戦争はとてもつらいということを心にとめておく。
- ・自分が住んでいる町で昔あった戦争の歴史について関心を持ったり、日本や世界であった戦争について関心をもって調べることが大切だと思う。
- ・お母さんやお父さんにきいたりこんなふう誰かに話をきいたりするのがとてもいいことだとかんじた。
- ・戦争のつらさをみんなにつたえる。
- ・差別などをしないことやいじめをしない。
- ・他人ごとにせずしっかり学習して自分で昔の出来事を心にとめておく。
- ・平和とせんそうとはなにかちゃんと知り、次の世代へと伝えていく。
- ・平和な活動に参加していく。
- ・こうして、出前じゅぎょうでなったり総合でなったりしたことをみんなに伝えていき戦争のつらさをつたえていきたい。
- ・今世界で起きていることを知り平和について考えること。
- ・戦争でどんなことがあったのかを、みんなに伝えて、戦争が起きていた人のことを考える。もう戦争を、起こさないようにしたいと思った。